



ソウル・サーファー

ベサニー・ハミルトン 鹿田 晶美 [訳]
ソニー・マガジズ

小さい頃からプロサーファーを目指していた
ベサニー。ある日、ベサニーは友達とサーフィンをして
いたところサメに左腕を食いちぎられた。しかし、
サーフィンをするのが大好きなベサニーは左腕をなくした
悲しさを乗り越えていった。やがて入賞するほど
上達していった。その裏側には、家族や友人の
支えがあった。この作品は映画にもなったほど
で、家族や友人の大切さを改めて感じるものだ。